施策21 農地の保全と活用

施策における目標

土に親しみたいと考える市民のニーズに応えます。また、市街化区域内農地の農地保全策として、市民農園の開設支援や遊休化防止を図ります。

施策概要

市民農園の開設支援や田植え・稲刈りなどの農業体験機会の提供。

想定される主な取り組み

- ・市民農園開設に関する支援を行う。
- ・田植えや稲刈り等の農業体験事業を推進する。
- ・援農や農作業受委託制度の整備に向けて、関係団体との連携を図る。

第2期実施計画における総評

・農地の活用については、ふれあい農園など各種事業の実施により、市民に対するレクリエーション環境の提供という点において効果を得ることができた。今後は、防災空間並びに景観作物の栽培等による緑空間としての機能を生かした利活用を検討していく必要がある。

・農地の保全については、本市市内(特に市街化区域内)農地の資産的価値が高く、生産緑地指定がなされていない農地は、税負担の問題から農地として保全することが難しいため、世代交代や農業用機械の買い換え時期を契機に農地転用する傾向があり、生産緑地の追加指定要件の緩和や新たな税制面における支援がない限り市街化区域内農地の減少を根本的に食い止めることは難しいものと思われる。

・市街化調整区域内の農地については、比較的農業を営みやすい環境にあるが、農業従事者の高齢化等による遊休農地の増加による農環境の悪化を防止するための対策を整備することが求められる。今後は、税負担や周辺の農環境の違いをふまえた上で、市街化区域と市街化調整区域それぞれの農地保全策を考える必要があり、箕面市農業振興検討会議等で新しい施策のあり方について具体化に努めていく必要がある。

施策22 ごみにしない・ごみを減らす

施策における目標

資源循環型社会形成のため、最優先とされるごみの発生抑制をめざします。

施策概要

ごみ減量・資源化に対する啓発・指導や経済的手法の活用によるごみ排出抑制の意識付け並びに市民の自主的な地域清掃などの促進。

想定される主な取り組み

- ・ごみ処理基本計画(改訂版)に基づき、ごみ減量・資源化を図る。
- ・事業系ごみの排出実態調査を行う。
- ・事業系ごみの減量方策を検討する。
- ・箕面市廃棄物減量等推進審議会の運営を行う。
- ・「ごみ減量フェア」等による環境美化とリサイクルに対する啓発を行う。

第2期実施計画における総評

・平成15年10月のごみ処理の一部有料制導入による家庭ごみの減量効果は、対平成14年度比で15%削減を維持しており、成果を上げた。

・市民の自主的なごみ排出抑制努力を支援する施策が目に見える形で展開されていないため、さらなる減量を進めるに当たっての課題となっている。

・家庭ごみが減量される一方で、事業系ごみが増加しており、早急に事業系ごみの減量方策を打ち出す必要がある。